

伊藤 正子 議員



**問** 子育て支援と対策について

**答** 子育て世代を含めた定住化対策を進めていく

国は少子化対策として大規模な予算措置がなされるが、少子化に歯止めがなく、子育て世代に手厚い支援をしている自治体に移住する若者世代も増えている。町の支援状況・子育て世代に町へ移住・定住してもらう対策。子育て世代の課題は教育環境を考えているが。

**問** 町の子育て支援の状況は。  
**町民税務課長** 平成29年度の児童手当対象児童数は延べ1万323人、支給総額は延べ1億1,474万5,000円。他にも子育て

て支援につきましては、国・県からの補助対象となるもの、町が単独で実施しているものなど様々な事業を展開しているところです。



**問** 教育環境の改革は。  
**教育長** 学校のあり方については、子供たちにとってよりよい教育をするためにはどうしたらよいかという視点で検討していかなければなりません。今後、検討会を立ち上げ、慎重に検討していきます。

**町長** 保護者や地域住民とともに課題を共有しながら、少子化に対応した活力ある学校づくりをどうするべきか、教育的に何が一番いいのか、今後、話し合いをしていきたい。

**問** 介護サービスの利用状況について

**答** 安心して暮らせる環境づくりを推進していく

高齢者の多くは可能な限り住み慣れた地域で命を全うしたいという思いがあり、ひとり暮らしや体力の衰えから不都合が生じ、自宅での生活が困難になり、介護申請して介護サービスの利用もせざるを得ない。高齢者介護は誰にも起こる生活上の問題であるが。

**問** 介護認定者数、特別養護老人ホーム利用状況は。

**健康福祉課長** 介護認定者419名、うち要介護3以上の方は187名。施設入所の8割は特別養護老人ホームです。入所は原則、要介護3以上の方です。65歳以上の高齢者が増加すると並行して介護認定者も増加傾向にあり、健康寿命を延ばして生き生きと生活できるかが大きな課題になっています。今までにない高齢化社会を迎えている中で、高齢者・介護する家族

が安心して暮らせる環境づくりを推進していきます。



	高齢化率	65歳以上	介護認定者
平成20年	20.7%	2,007人	274人
平成30年	31.7%	2,730人	419人

10年前と比較した五霞町の高齢化の状況